

第9回独立行政法人農林漁業信用基金漁業信用保険業務運営委員会 議事概要

1 日時及び場所

- (1) 日時 令和2年2月25日(火) 10時30分～12時05分
- (2) 場所 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル11階
独立行政法人農林漁業信用基金 第3・4会議室

2 出席者

(1) 運営委員

出資者：木村委員、斉藤委員、佐治委員、沢水委員、高橋委員
学識経験者：上竹委員、亀田委員、竹田委員、山下委員

(出資者・学識経験者別 五十音順)

(2) 信用基金

今井理事長、森島副理事長、深水総括理事、小林理事、伊佐理事

(3) オブザーバー(主務省)

村上財務省大臣官房政策金融課課長補佐、清水水産庁漁政部水産経営課課長

3 提出議案

(1) 審議事項

- ① 農業信用保険業務、林業信用保証業務及び漁業信用保険業務に関する業務方法書の変更(案)について
- ② 第4期中期計画の変更(案)について
- ③ 令和2年度年度計画(案)について

(2) 報告事項

- ① 漁業信用保険料率算定委員会の結果について
- ② 漁業信用保険業務運営の検証委員会の結果について
- ③ 漁業信用保証・保険制度の利用促進に向けて

(3) その他

4 議事経過の概要及びその結果

議事に入る前に、運営委員の互選により山下委員が委員長に選出された。委員長は斉藤委員を委員長代理として指名した。

引き続き議事に入り、上記3(1)の議案について信用基金から説明がなされた後、審議が行われ、原案どおり承認された。

また、上記3(2)の議案について信用基金から説明がなされた。運営委員からの主な質問等は以下のとおり。カッコ内は、これに対する信用基金の説明。

【質問等】

- (1) 農業信用保険業務、林業信用保証業務及び漁業信用保険業務に関する業務方法書の変更(案)について
 - 原案どおり承認。
- (2) 第4期中期計画の変更(案)について
 - 原案どおり承認。
- (3) 令和2年度年度計画(案)について
 - 資料3の第2の4(電子化の推進)の記載内容は、今年度の年度計画と異なり、具体

的な取組内容が記載されていないのはなぜか。

(令和2年度においては、今年度から取組を始めた電子決裁やPC持込みによる内部会議のペーパーレス化について対象範囲を拡大し、本格的に実施することを計画。なお、これらの取組は、新たな取組というよりは中期目標で指示されている電子決裁やペーパーレス化という方向性に即した取組の範囲の拡大にとどまることから、個別具体的な取組として記載する必要がないと判断したところ。)

(4) 漁業信用保険料率算定委員会の結果について

- 保険料率に関する内部検討について、今年度も本運営委員会に報告があったことを評価したい。検討結果に異論はないが、保険料率は中小漁業者等の経営に大きな影響を与えるものであり、引き続き検討されたい。

(5) 漁業信用保険業務運営の検証委員会の結果について

- 主務省と調整中の事項については状況を理解した。

(6) 漁業信用保証・保険制度の利用促進について

① 水産加工業関連

- 漁業と水産加工業者では資金需要が異なるため、水産加工業者向けに使い勝手のよい新たな運転資金について検討することは必要。
- 東日本大震災の被災地では、民間金融機関担当者に国の漁業者等緊急保証対策事業の活用を周知することなどにより水産加工業者に対しても思い切った保証引受けができていたが、令和2年度をもって事業は終了するため、その後はリスクの高い水産加工業者の保証引受けには慎重にならざるを得ないと考えている。なお、漁協が信用事業も実施している場合には、漁協の正組合員である漁業者への融資が優先され、准組合員である水産加工業者に対する融資には慎重となっているのが現状。
- 民間金融機関が水産加工業者に対して融資する場合、信用保証協会の保証を利用していることが多く、基金協会の営業が不足していると認識。例えば、民間金融機関から基金協会に対し中小漁業融資保証制度の利用について照会があっても、保証利用に際し出資が必要であることなど、保証要件を回答していると立ち消えになってしまうことがある。
- 水産加工業者の倒産が頻発していることにより、水産加工業者の間に競争が生まれず、原料の魚価も上昇しないため、漁業者にも影響が及ぶ。漁業者と水産加工業者は運命共同体であるが、信漁連は、リスクの大きい水産加工業者を対象にした融資・保証推進に手が回らないのが現状。一方、リスクを伴うとしても、水産加工業者向けの新たな運転資金の検討は必要。

② 養殖業関連

- 大手養殖業者に対しては主に民間金融機関が融資し、系統金融機関による融資の利用が少ないことは仕方がない。リスクは高いが、経営不振の中小養殖業者であれば、系統金融機関による融資のニーズがあるのではないかと。

以上